

【 ハリソン先生第2回講演会サマリー 】

テーマ ダブリンの町と人々の生活について

ダブリンは伝統文化などにおけるヨーロッパで最も古い都市の1つである。

バイキングやノルマン人の戦いが発展や18世紀の建物（例えばジョージア調の）に大きな影響を与えた。

今日のダブリンはユニークではっきりとした独自性を持った変化あるダイナミックある町になっている。

チューダーとスチュアート時代

ダブリン発展の影響

ビクトリア時代と現在の町や文化

を見てみよう。

ダブリンはアイルランドの東海岸にあり、約10,000年の歴史がある。

ダブリンとは暗い水溜り（dark pool or black pool）という意味がある。

Gaelic時代は1840年ごろまで続いた。

ダブリンはバイキングにとってのマーケットプレイスになった。

ダブリンは経済でも栄え、現在の人口も人口は急増している。

アイルランドで大飢饉が起こった時、何100万人という人が亡くなり町を出ていった。ダブリンは食糧の供給によって支えられた。インドの穀物、コーン、豚、ミルク、卵などが輸入された。

ダブリンの文化活動は経済活動であった。（シアターなど）

担当者

望月ゼミナール

経済学部 経済学科

宮澤奈緒